川西市立東谷中学校
学校便りNo.１４（31.1.8）
発行者　校長 足立 仁志

幸　動

あけまして おめでとうございます
本年もよろしくお願いいたします

幸運をつかみ取ろう

みなさんは、どのように冬休みを過ごしましたか。三が日にはご家族の方と一緒に初詣に行った人も多いと思います。

初詣では、いろいろな願い事をしたことと思います。入試、成績、部活動、恋愛、健康等々たくさんの願い事をした人もいると思います。その願いがかない、今年が幸運に恵まれた１年になるといいですね。

私は以前から、幸運を引き寄せるため（正確に言うと、不幸に見舞われないようにするため）に意識していることがあります。それは前向き（ポジティブ）な言葉を使うことです。

昔から日本では、言霊（ことだま）と言って、言葉には不思議な力があり、魂が宿ると信じられてきました。良い言葉を発すると良いことが起き、悪い言葉を発すると悪いことが起きると信じられてきました。これは単なる迷信かもしれませんが、私は言葉には大きな力があると信じています。

事実、人は言葉の力によって頑張ることもできるし、やる気を失うこともあります。「いける」「できる」と言われた時と、「どうせ無理」「やっても無駄」と言われた時との気持ちの違いを考えてみてください。意識して前向きな言葉を使っていると考え方が前向きになり、やがては行動も前向きなものに変わっていきます。最終的には、それが良い結果へとつながっていきます。

みなさんも、日ごろから、前向きな言葉や美しい言葉をたくさん使うように心がけてみてください。そうすると、何か良いこと（幸運）が起きるかもしれません。

幸運を逃がさない

言葉を使うとき、もう一つ考えておいてほしいことがあります。それは、人の悪口や陰口を言わないことです。当然、このような言葉を使っている時は、気持ちがすさみ、前向きな言葉は出てきません。言葉だけでなく心や顔つきだってよくないものになっていると思います。こんな状態だと、幸運だって逃げだしてしまいます。

言葉は、独り言のように自分自身に言い聞かせている時もありますが、大半は自分以外の誰かに対して発しています。従って、お互いに人の悪口や陰口を言わないように注意し合うことも大切です。

２０１９年が、東谷中生徒のみなさんと東谷中学校にとって、幸運に恵まれた素晴らしい１年になることを心から願っています。

3学期がスタートします

みんなの笑顔で締めくくろう

２学期は、二つの大きな行事があり、互いに協力し合うことでクラスの絆や団結力が深まりました。最近では、クラスの個性（他のクラスと違うところ）がはっきりとしてきました。それは、自分たちが作り上げてきたものです。

今日から始まる３学期は、「仕上げの学期」と言われています。みんなで時間をかけて作り上げたクラスも、良い仕上げをしなければ、これまでの努力が無駄になってしまいます。

私は、クラスの仕上げとは、終わり方のことを指すのだと考えています。私が理想とする終わり方は、クラスの全員が笑って終われるようになることです。自分は「このクラスが好きだ」「このクラスで良かった」と全員が思えるようなクラスにしてほしいと思います。もし、「こんなクラスは早く終わってほしい」と考える人が一人でもいたら、他の人にとっても、気持ち良く終わることはできません。

陰口や仲間はずれ、いじめなどがあって辛い思いをする人を絶対に出してはいけません。そのような行為には自分が関わらないだけでなく、いじめなどを許さない雰囲気を作ることも大切です。みなさんには、これまでに築いてきた「絆」があるのだから、きっと思いは周りの人にも通じます。

３学期は、１年で最も短い学期です。あっという間にゴールがやってきます。今日から、「みんなが笑顔で終わるゴール」を目指して進んでいってください。

新しい学年の準備を

今年は、２０２０年オリンピック・パラリンピック東京大会の前年にあたります。「プレオリンピックイヤー」などとも言われています。プレとは、「以前の」という意味で、本番がうまくいくように、前もって試験的に行うことに使われます。「プレオリンピック」とは、本番のオリンピックが問題なく開催できるように、試験的に行う大会を言います。今年は、柔道の世界選手権を始め、いろいろな種目で「プレオリンピック」にあたる大会が開催される予定です。

みなさんにとっては、この３学期は「プレ学年」とも言える学期です。１年生にとってはプレ２年生、２年生にとってはプレ３年生、３年生にとってはプレ高校１年生です。新しい学年で良いスタートを切るためには、今から次の学年の準備をしておくことが大切です。

例えば、１年生は、後輩ができた時に自分は手本となる行動がとれるだろうか。２年生は、自分の力で進路を切り拓いていくことができるだろうか。３年生は、卒業後の新しい環境でも自分の個性を発揮していけるだろうか。こんなことをイメージしながら、どのように行動するかを考えておくことが大切です。

しかし、考えているだけでは準備になりません。今やってみることが必要です。後輩の手本になるような行動、進路選択に向けた準備、自分らしさを発揮することなどを実際に試してみてください。それらは、今を充実させることにもつながります。

充実した３学期を送ることは、次の学年につながる大きなステップになるのです。